

あつぎの魅力を動画で発信



動画はこちら



厚木で暮らそう



Atsugi Life



空から発見!!あつぎの魅力



相模人形芝居・
伝統文化を誇れるまち、厚木



おいしいね 厚木の給食



厚木のホルモン



厚木市制70周年記念サイト

記念イベントやお祝いメッセージ、
記念誌など、皆さんの記憶に残る70
周年にするための情報を掲載



サイトはこちら



公式LINE

登録すると最新情報が届きます。
リッチメニューも充実。

LINE



公式SNS

写真や動画などで市の魅力
や話題を発信。

X

@AtsugiCity



instagram

@atsugi_city



YouTube

@Atsugicity

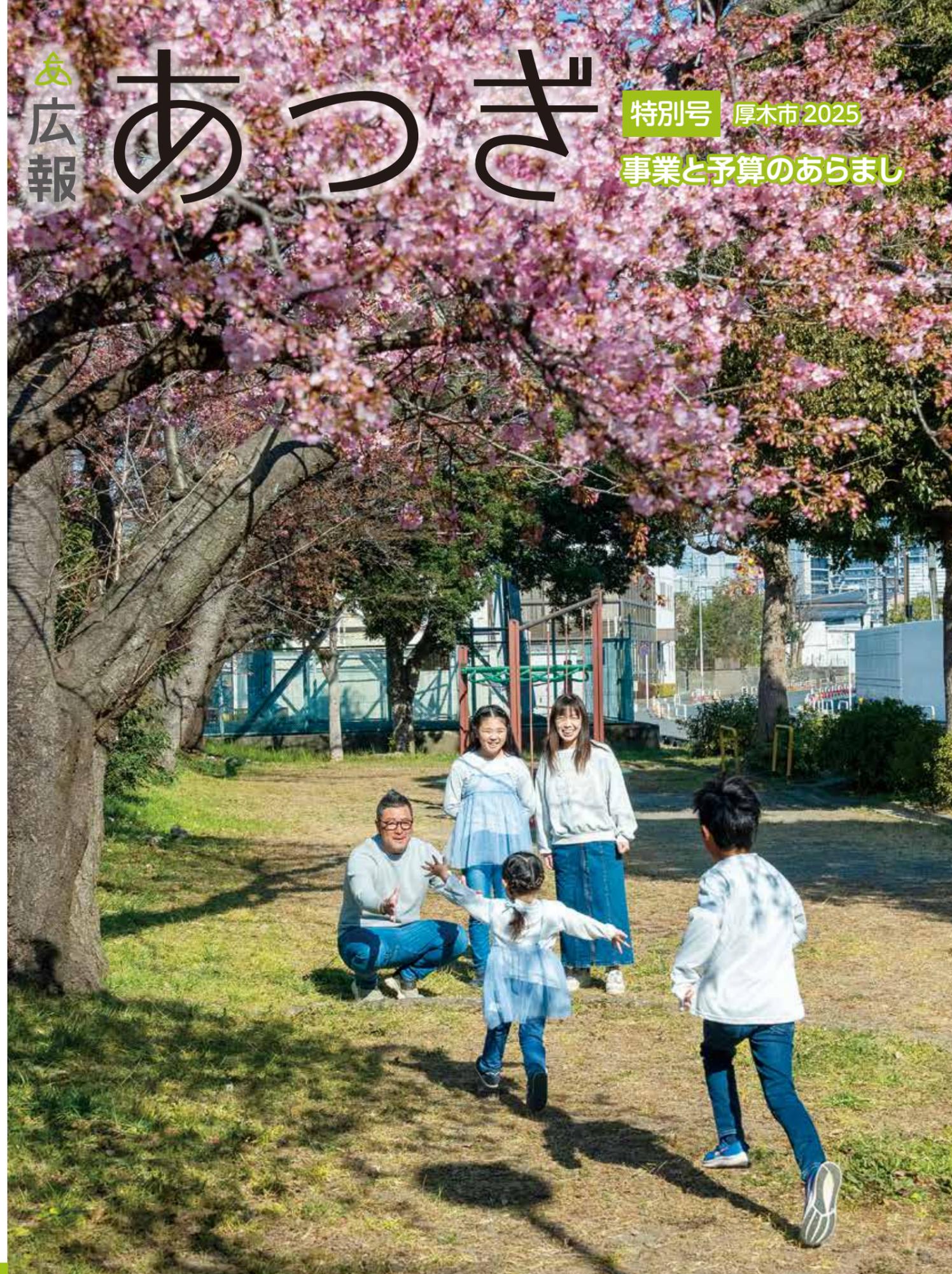


あ
広
報

あつぎ

特別号 厚木市2025

事業と予算のあらまし



あつぎプライドを胸に、 魅力あふれるまちへ

2025年度 施政方針要約

市議会第2回会議の初日、市政運営の考え方や重点的に取り組む施策を表明しました。議会では、総額1789億793万9千円の予算が成立しました。

2025年市政運営のテーマ

誇

厚木市長

山口 貴裕



市章をあしらったラッピングバスと



複合施設の整備状況を確認

今年の2月1日に、厚木市は市制施行70周年を迎えることができました。市制を施行した昭和30年の人口は3万1千人程度でしたが、現在では22万人を超えるまでに成長しています。これもひとえに、先人の皆さまのたゆまぬ努力と、市民の皆さま、事業者の皆さまのご理解とご協力のたまものには他なりません。襷を受け取った市長として、厚木をさらに発展させ、次世代へ引き継ぐという重責を感じています。

今年の市政運営を進める上での思いを「誇」としました。70年の歩みやこれまで築いてきた業績を振り返るこの一年は、改めて厚木により一層の誇りを感じられる年になると確信しています。厚木への誇り、「あつぎプライド」を胸に抱きながら、市民の皆さまと魅力あふれるまちづくりに全力で取

り組んでいきます。

誇りを抱かれる厚木に

子育て・教育で選ばれるまちの実現に向けた取り組みとして、妊婦健康診査補助券の補助額を県内トップクラスに拡大、不妊治療の先進医療費の一部助成など、安心して出産・子育てができる環境を整備していきます。学校教育では、現在市立小・中学校で利用しているGIGAスクール端末が耐用年数を経過するため、機器を一斉更新し、引き続き、児童・生徒一人一台の学習環境を確保するとともに、新たに、AI型デジタルドリル教材を導入します。一人一人の理解や進度に応じた学びを提供し、端末の利活用を推進していきます。

昨年は、震度7を観測した「令和6年能登半島地震」に始まり、

度重なる豪雨による土砂災害や河川の氾濫、「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表された翌日に市内で震度5弱を観測した地震が発生するなど、自然災害が起きやすい国土であることを痛感させられた1年でした。災害から命と暮らしを守り抜くため、防災アドバイザーを養成する防災士資格取得講座、指定避難所の生活用水を確保するための防災井戸・災害用水洗式マンホールトイレの設置に向けた調査などに取り組み、防災力を強化します。

主要な施策の一つに掲げる「スポーツ・文化芸術・歴史の聖地」の実現では、全国規模の大会を積極的に誘致し、トップアスリートのプレーを見ていただく機会を増やすなど、スポーツをする・みる・支える取り組みを通して、市民の皆さまや地域がつながり支え合

社会の実現や、スポーツを通じた市民の皆さまのウェルビーイング向上を図ります。文化芸術では、アミューあつぎやリニューアルした文化会館を拠点に、気軽に文化芸術に触れる機会を提供します。また、国指定重要無形民俗文化財である相模人形芝居の記録を後世に残すための調査や、あつぎ郷土博物館を拠点に本市が発祥の地である毛利氏ゆかりの品を展示する特別展なども実施し、歴史や文化を身近に感じる機会を設け、「聖地づくり」を進めます。

挑戦心や目標を持ち市政を前へ

市政運営において、新たな事業に着手する時や、変化を伴う選択を迫られる時は、乗り越えなければならない難問や課題に直面します。それでも、挑戦する気持ちと

目標、そして「あつぎプライド」を心に刻み、市民の皆さま一人一人があつぎ愛を育み、「ふるさと厚木」を誇りに感じられ、全国・全世界から憧れを抱かれる魅力あるまちとなるよう前へ進んでいきます。

全文は市ホームページに掲載



少年野球大会での始球式。スポーツの聖地づくりに力を注ぐ

2025年度予算	5
一般会計	6
1 子育て・教育で選ばれるまちの実現	8
2 災害から命と暮らしを守り抜くまちの実現	12
3 魅力あふれるあつぎの創造	14
福祉の充実による住みやすいまちの実現	14
生まれ変わる中心市街地の実現	15
強い財政力をいかしたまちの実現	15
道路交通の円滑化の実現	16
時代と市民に寄り添う行政運営の実現	17
スポーツ・文化芸術・歴史の聖地の実現	17
安心して暮らせる防犯のまちの実現	17
4 市制70周年記念事業	18

未来へ一歩 つながる あつぎ70年



厚木市は、1955年に1町4村が合併して誕生し、2月1日に市制施行70周年を迎えました。市の発展に尽力した先人の思いを受け継ぎ、魅力あふれるまちづくりに向けた新たな一歩を踏み出します。

2025年度 予算

問 財政課 ☎225-2170

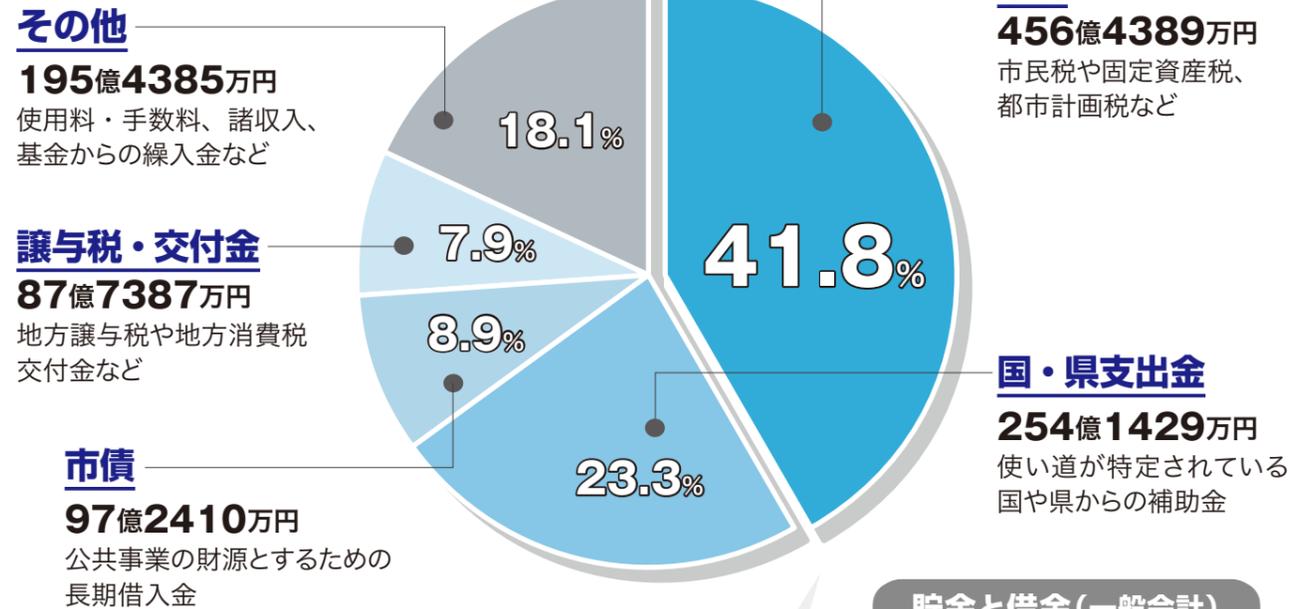


一般会計

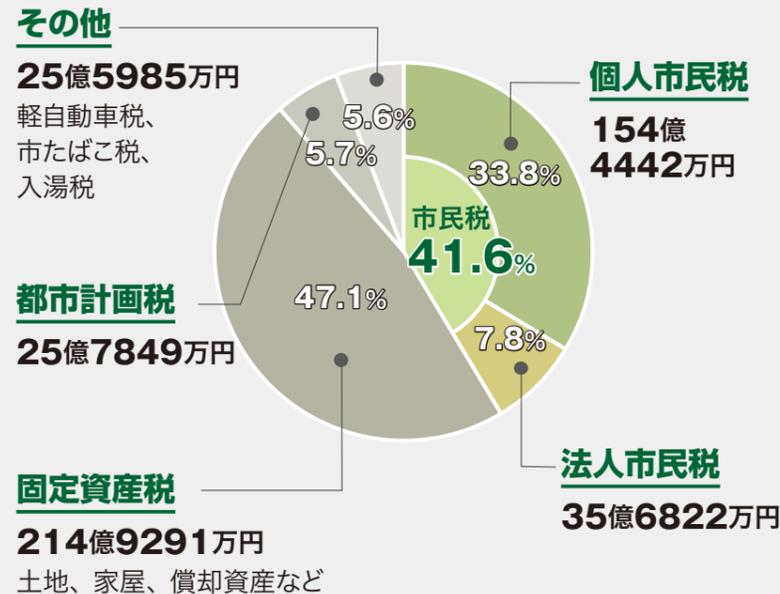
総額1091億円

一般会計は、福祉や防災、道路、教育など市の基本的な仕事の収入と支出を管理する会計です。

歳入



《市税収入の内訳》



貯金と借金(一般会計)

貯金(基金)

年度間の財源調整をする財政調整基金の他、教育、文化振興、災害対策など特定の目的で積み立てる資金です。

基金の合計額

244億5961万円
(25年度末見込み額)

借金(市債)

学校や道路など、長期にわたって使用する公共施設の整備に必要な市債(長期借入)を発行します。

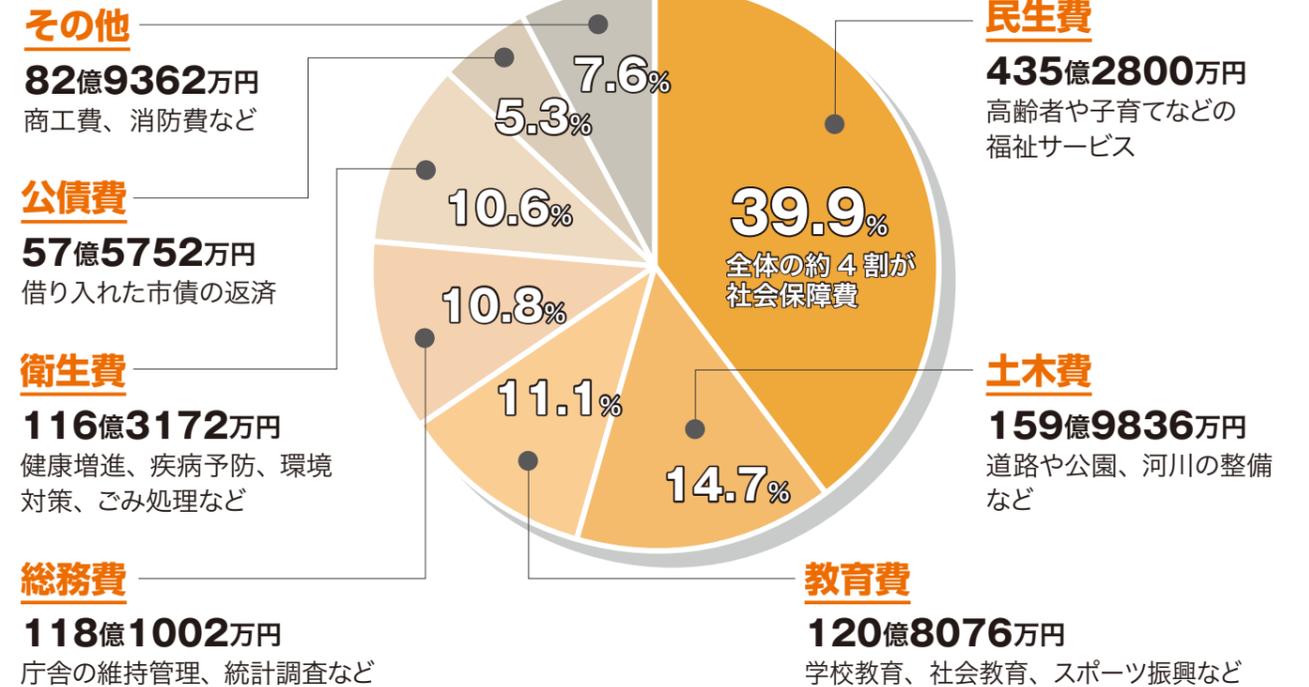
市債の残高

809億5901万円
(25年度末見込み額)

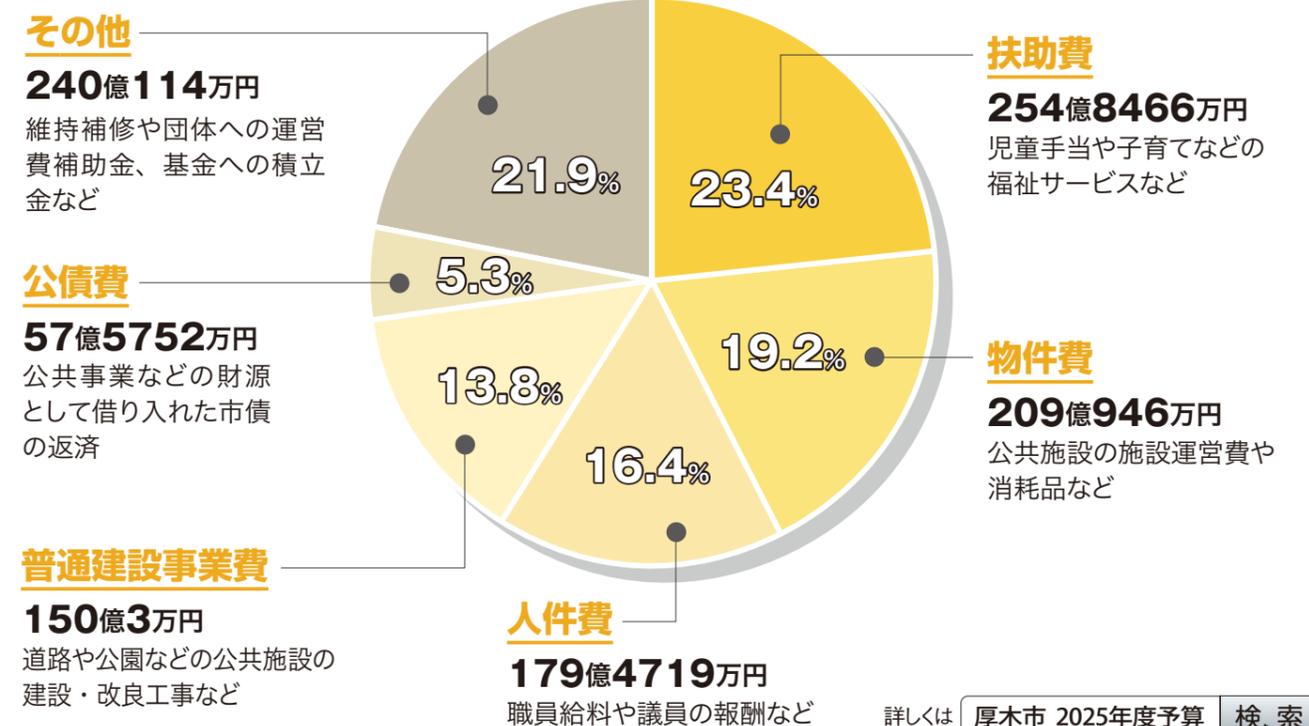
歳出

どんなことに使われている？

目的別 福祉や教育など、行政の目的に着目した歳出の分類



性質別 人件費や扶助費など、経費の経済的性質に着目した歳出の分類



詳しくは [厚木市 2025年度予算](#) [検索](#)

1 子育て・教育で選ばれるまちの実現

市立小・中学校のGIGAスクール端末の入れ替え・AIドリルの導入や、妊娠・産前産後のサポートなどにより、子どもたちの教育環境や子育て環境の充実に取り組みます。

GIGAスクール端末を活用し学びを充実

教育ネットワーク 運営事業

拡大 3億2155万円

教育研究所



AI型デジタルドリル教材を導入

小・中学校情報教育機器 維持管理事業

拡大 12億1526万円

教育研究所



市立小・中学校で活用しているGIGAスクール端末を入れ替えます。さらにAI型デジタルドリル教材を導入し、一人一人の学習進度に合った学びの環境を整えます。また、端末を活用した授業を円滑に進めるため、GIGAステップアップ支援員も増員します。



乳幼児の健やかな成長につながる新たな遊び場へ

子育て支援センター リニューアル事業

新規 700万円

こども家庭センター

冒険・経験・体験ができ、子どもたちの心をくすぐる全天候型の遊び場として機能を充実するため、リニューアルに向けた基本計画を策定します。

妊娠・産前産後をサポート

母子保健衛生事業

拡大 2億5848万円

こども家庭センター

妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査助成金の補助額を増額します。

さらに、新たに不妊治療の先進医療費の一部を助成する他、1カ月児健康診査費用の助成や5歳児健康調査のフォローアップ健診を実施します。

◆妊婦健康診査 県内トップクラス

【助成金額】 最大8万円 → 11万円

◆妊娠応援事業(不妊治療) 県内トップクラス

【回数】 治療開始時の女性の年齢が

40歳未満=6回まで

40~43歳未満=3回まで

【補助上限額】 10万円/1回

◆1カ月児健康診査

【助成金額】 4000円/1人



安心して子育てを

母子支援事業

拡大 7086万円

こども家庭センター

産後の母親と子どもの健やかな生活を支えるため、心身のケアや育児のサポートなどを提供する産後ケア事業を充実させます。

【対象者】 産後5カ月未満の母親と乳児

→ 産後1年以内の母親と乳児

◆アウトリーチ(訪問)型

【利用回数】 2回 → 7回

【利用可能時期】 新生児訪問後 → 出産後(1年以内)



1 子育て・教育で選ばれるまちの実現

施設を一体的に整備

(仮称)三田児童館等 複合施設整備事業

新規 1649万円 青少年課



三田放課後児童クラブ 施設整備事業

新規 1577万円 こども育成課

安心・安全に過ごせる子どもの居場所づくりの実現に向けて、児童館と放課後児童クラブを一体的に整備するため、新築設計などを実施します。



※完成イメージ図

小学校を安心・安全で快適な教育環境に

校舎等整備事業

拡大 13億8964万円 学校施設課

老朽化が進んだ依知南小の中央・西棟校舎、緑ヶ丘小の東・西棟校舎の建て替え整備に伴う詳細設計・既存校舎解体工事の他、北小南棟校舎の詳細設計を進めます。

【供用開始予定】 依知南小=2027年度
緑ヶ丘小= 28年度
北小 = 29年度

楽しい学校生活を送れるように

日本語指導プレクラス 運営事業

新規 220万円 教育指導課

日本語が分からない状態で編入・転入する児童・生徒のために「日本語指導プレクラス」を設置し、学校生活への適応や、生活に必要な日本語の習得につなげます。

悩みや不安を解消

地域子育て相談機関 事業

新規 531万円 こども家庭センター

児童館に子育ての相談機関を設置し、公認心理師や保育士による相談、情報提供、助言、支援の他、講座やイベントを開催します。

自分のペースで学べる場所を 登校支援推進事業

拡大 1787万円 青少年教育相談センター

不登校の児童・生徒が自分のペースで学習し生活できる校内の居場所として「校内教育支援センター フリールーム」の取り組みを推進します。

【中学校モデル校】 2校 → 4校



「手ぶらで保育」で保護者の負担を軽減

民間保育所運営費補助金

拡大 6億5657万円 保育課

地域型保育施設運営費補助金

拡大 6650万円 保育課

幼児教育支援事業補助金

拡大 1億208万円 こども育成課

保護者の負担軽減のため、おもつの保管庫や折り畳みヘルメットなどの購入を補助し、保育所などで実施する「手ぶらで保育」を支援します。

学校生活を快適に

体育館冷暖房設備設置事業

継続 4162万円 学校施設課



児童・生徒の安心・安全で快適な教育環境の確保や避難所としての機能を強化するため、市立小・中学校36校の体育館へ冷暖房設備の設置を進めます。

【2025年度】 小学校12校・中学校2校に設置
※24年度は小学校3校・中学校11校に設置済

子どもたちの成長と保護者を支援

学校給食費の無償化

◆学校給食費無償化対応

継続 7億9831万円 学校給食課

◆小中学校学校給食費相当額助成事業

継続 4276万円 学校給食課

未来を担う子どもたちの食の環境を社会全体で支えるとともに、保護者の経済的な負担を軽減するため、市立小・中学校の学校給食費を引き続き無償化します。

また、給食の提供を受けられない市立小・中学校の児童・生徒や、私立学校、特別支援学校通学者などの保護者に学校給食費相当額を給付します。



2 災害から命と暮らしを守り抜くまちの実現

公民館の熱中症対策や映像通報システムの導入、防災力の強化などで、市民の皆さんの命と暮らしを守ります。

快適に過ごせる空間に

公民館熱中症対策 空調設備整備事業

新規 3516万円 市民協働推進課

夏場に公民館で手続きなどをする方の熱中症のリスクを軽減し、待ち時間を快適に過ごせるよう一部の公民館ロビーに冷房設備や遮熱フィルムを設置します。



住宅の耐震化を後押し

木造住宅耐震改修 促進事業費補助金

拡大 1492万円 建築指導課

耐震性が不足と判断された旧耐震基準の木造住宅に対し、新たに除却工事への補助を追加します。さらに、耐震診断費・耐震改修設計費・耐震改修工事監理費の補助額の上限を増額します。

【除却工事】 上限50万円（費用の1/2）

【耐震診断】 7万5000円 → 9万円

【耐震改修設計】 9万円 → 11万円（費用の2/3）

【耐震工事監理】 6万円 → 7万5000円（費用の2/3）

大規模災害に備えて

防災井戸等導入検討事業

新規 300万円 危機管理課

指定避難所の小・中学校に生活用水を確保するための防災井戸や、災害用水洗式マンホールトイレの設置に向け水源調査などを実施し、井戸の深さや掘削方法、災害用水洗式トイレシステムなどの導入を検討します。



山際地区に新たな防災拠点を

（仮称）北部地区公園 整備事業

拡大 4658万円 公園緑地課

市民のコミュニティーや憩いの場を提供するとともに、大規模災害に備え、災害時には防災の拠点などの機能を担う（仮称）北部地区公園の整備に向けた基本設計や井戸設置委託を実施します。

命を救うために

通信指令関係事業

拡大 6485万円 指令課

119番通報時に通報現場の状況をリアルタイムで映像伝送するシステムを新たに導入します。

救急要請時は通信指令員から通報者に応急手当てを分かりやすく指導できるようになり、救命率の向上を図ります。また、火災などの状況を早期に把握し、多様化する災害への対応力を強化します。



防災士の資格取得をサポート

防災アドバイザー 養成事業

新規 319万円 危機管理課

防災に関する見識を持った防災アドバイザーを養成する防災士資格取得講座を開催し、家庭や地域などでの防災力を一層強化します。

大規模災害時の相互応援協定で協力体制を強化

■相互応援協定とは

地震や風水害などの大規模な災害が発生した場合に、食料・飲料水・生活必需品・資機材の提供や職員の派遣、被災者の受け入れの協力など相互に支援する協定。

■協定を締結している自治体

- 埼玉県狭山市（1996年7月24日）
- 山梨県北杜市（2024年10月30日）
- 栃木県栃木市（2025年1月16日）
- 岩手県釜石市（2025年1月23日）

③ 魅力あふれるあつぎの創造

厚木の魅力を磨き上げ、誰もが住んでよかった、住み続けたいと思え、誇りを持てるようなまちづくりに取り組みます。

福祉の充実による住みやすいまちの実現

遠隔サポートシステムを導入

障害者意思疎通支援事業 県内初

拡大 912万円 障がい福祉課

視覚障がい者の外出などを支援するため、スマートフォンアプリによる専門オペレーターの遠隔サポートシステムを導入し、社会参加の促進や生活の質の向上につなげます。



生き生きと過ごせるように

生活支援体制整備事業

拡大 198万円 地域包括ケア推進課

地域の課題解決に向け支援体制を強化するため、介護予防につながる「通いの場」の開設を支援し、地域包括ケア社会の実現を目指します。

子どもたちが平和を学ぶ機会を

平和都市推進事業

拡大 359万円 地域包括ケア推進課

戦後・被ばく80年の節目の年を迎え、平和のための展示会などの開催に加え、市内の子どもたちが広島県を訪問し、平和の大切さを学ぶ機会をつくります。

二次元コードで居場所を把握

家族等支援事業

拡大 666万円 福祉総合支援課

二次元コードを活用した見守りステッカーを導入し、高齢者が家族などの元を離れ行方不明となった場合の迅速かつ安全な保護につなげます。

带状疱疹予防接種費用を助成

成人保健予防接種事業

継続 5億4819万円 健康医療課

50歳以上の带状疱疹予防接種費用の一部助成を引き続き実施します。

【対象】
50歳以上
【助成額】
不活性化ワクチン(2回)
=1回1万円
生ワクチン(1回)
=5000円



いつまでも歯と口の健康を

成人歯科健康診査事業

拡大 6081万円 健康医療課

65・70・75歳以上を対象にオーラルフレイル健診を新たに実施し、加齢に伴う口腔機能低下の早期発見・治療による、歯と口腔の健康を増進します。

【自己負担額】 1500円
(70・75歳以上は無料)



生まれ変わる中心市街地の実現

厚木の顔にふさわしい街並みを

本厚木駅北口周辺整備事業

拡大 6130万円 市街地整備課

多様な都市機能の集積や交通結節機能の充実した駅前広場など、デザイン・機能性に優れた街並みを目指した一体的な再整備を進めます。



強い財政力をいかしたまちの実現

産業用地の創出に向けて

土地区画整理推進事業

継続 3765万円 区画整理課

充実した都市基盤を計画的に形成するため、山際北部・山際・長谷南部地区などを対象に、組合設立を目指す地権者組織を支援します。



まちのにぎわい創出に向けて

本庁舎敷地跡地利用推進事業

拡大 2121万円 行政経営課

新たな附属機関の設置や、プロスポーツチームをはじめとする関係団体へのヒアリングなどを実施。現市役所本庁舎敷地の跡地活用に向けた基本計画の策定を進めます。



③ 魅力あふれる厚木の創造

道路交通の円滑化の実現

渋滞解消に向けて

交通混雑対策推進事業

新規 2300万円

交通混雑対策課

厚木秦野道路の整備効果が最大限に発揮される道路ネットワークを検証し、渋滞解消に効果的な道路整備を推進します。



※完成イメージ

新たなアクセス道路を整備

尼寺原幹線街路整備事業

新規 1300万円 交通混雑対策課

船子飯山線街路整備事業

新規 2800万円 交通混雑対策課

厚木秦野道路(仮称)森の里インターチェンジへのアクセス道路の整備を進め、広域的な環状系道路ネットワークを構築し、交通の分散化を図ります。

安全な道路環境を

道路交通環境整備事業

新規 1億700万円

交通混雑対策課

高齢者や障がい者など誰もが安全に利用できるよう、歩道に休憩スペースとしてベンチを設置します。また、防災・減災対策として、交通動線を確保する無電柱化やバス待ち環境の整備を進めます。



将来の移動手段を研究

モビリティサービス共創事業

新規 500万円

都市計画課

日産自動車や交通事業者などと共創・協働し、将来のモビリティサービスの在り方などの共同研究を実施。誰もが快適に移動でき、地域で暮らし、働き続けられる人にやさしい都市の実現を目指します。



※写真はモビリティサービスのイメージです

時代と市民に寄り添う行政運営の実現

負担軽減で自治会活動を後押し

自治会支援事業

新規 1311万円

市民協働推進課

自治会の負担軽減のため、回覧板を電子で見られるアプリを導入します。また、地域コミュニティの核となる自治会活動の必要性を幅広く周知するパンフレットを配布します。



スポーツ・文化芸術・歴史の聖地の実現

郷土芸能を後世に

無形民俗文化財総合調査事業

新規 27万円

文化魅力創造課

地域に根付いた文化芸術を絶やさず次世代に引き継げるよう、厚木・平塚・小田原・南足柄市が合同で、国指定重要無形民俗文化財「相模人形芝居」の記録を後世に残すための調査に取り組みます。



安心して暮らせる防犯のまちの実現

地域で支える

犯罪被害者等支援事業

新規 475万円

くらし交通安全課

犯罪被害者などを支える地域社会づくりを進めるため、犯罪被害者等支援条例を制定し、支援の施策を総合的に推進します。

犯罪の抑制に

見守りシステム整備事業

拡大 4183万円

くらし交通安全課

犯罪の抑制や発生時の犯人特定・早期検挙につながる防犯カメラを都市公園に設置。子どもなどを街頭犯罪や不審者から守るため、地域の防犯力を強化します。



4 市制70周年記念事業



節目の年を市民の皆さんとお祝いするため、スポーツ・文化芸術・歴史など幅広い分野で記念事業を実施します。

厚木市が舞台の映画製作支援

500万円 企画政策課

市内を舞台に製作される映画「キリコのタクト・YELL」を支援します。市民が広く携われる映画として、国内外に向けた魅力の発信につなげます。

【2025年】市内で撮影
【2026年】劇場公開予定



あつぎミュージックフェスティバル

985万円 文化魅力創造課

新人シンガー発掘オーディションと厚木中央公園でのコンサートを開催し、若者アーティストの育成と音楽文化の普及向上につなげます。

モルック全国大会

640万円 スポーツ魅力創造課

関東圏初となる、モルックジャパンオープンを開催。市民の皆さんが参加できるイベントも同時に実施します。



アーバンスポーツイベント

2200万円 スポーツ魅力創造課

スケートボードや自転車競技のBMXなどが楽しめるイベントを開催し、スポーツに親しむ機会をつくり、普及促進につなげます。

市制70周年記念事業費補助金

1000万円 企画政策課

市制70周年を地域の皆さんと盛り上げるため、市内15地区が主体となって実施する記念事業などに補助金を交付します。

プロスポーツチーム応援キャラバン

400万円 企画政策課

年間を通して厚木にゆかりのあるプロチームを応援し、スポーツを盛り上げていきます。

- 【対象チーム】
- ・厚木SC(ソフトボール)
 - ・厚木はやぶさFC(サッカー)
 - ・クリタウオーターガッシュ昭島(ラグビー)
 - ・湘南ベルマーレ(サッカー)
 - ・湘南ユナイテッドBC(バスケットボール)



- ・ブルーサクヤ鹿児島(ハンドボール)
- ・横浜DeNAベイスターズ(野球) など

寿・毛利家と共に

1278万円 あつぎ郷土博物館

あつぎ郷土博物館で、厚木市発祥といわれる毛利氏に焦点を当てた特別展を実施。毛利氏と市の歴史的なつながりを知る機会をつくれます。



横手市増田まんが美術館厚木出張所

350万円 企画政策課

友好都市の秋田県横手市にあるまんが美術館に収蔵されている漫画家の作品を展示する他、サイン会なども開催します。

壁画プロジェクト

250万円 企画政策課

市内出身で国内外で活躍するアーティスト・井上純さんを講師に招き、子どもなどを対象としたイベントを開催。交流を通し文化・芸術への親しみを深めます。



図書館フェスティバル

134万円 中央図書館

絵本作家や読書家による講演の他、子どもと参加できるミュージカル鑑賞などを開催します。

こどもフェスタ2025

550万円 青少年課

体験や経験を通じて、心豊かな青少年の育成につながるイベントを開催します。